

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

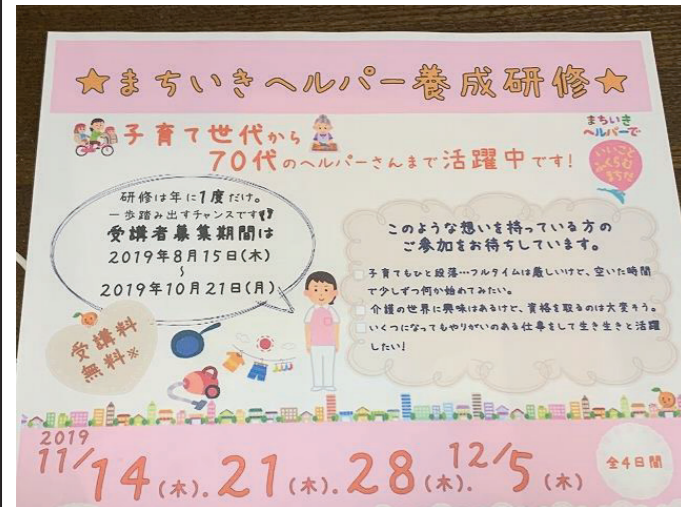
〒194-8520  
東京都町田市  
森野2-2-22  
☎042-724-2171  
「保守の会」派室  
自宅 042-795-7361



FAX:042-795-2726

## 介護ヘルパー養成研修

不足する介護人材の養成に向けて、町田市が「まちいきヘルパー養成研修」の年に一度の講座を行っています。4日間にわたるその研修結果がその後の就業に果たして十分に機能をしているかを尋ねました。



### \*まちいきヘルパー養成研修の案内チラシ

具体的には養成研修を受ける人、介護事業所に登録をした人は一定あっても、それが確実に就業につながっていないのではないかと言うことを、当事者である資格取得者の方からの疑問を一般質問で取り上げた次第です。参考：3か年で修了者数112人、登録者数59人となっています。

まず、町田市が就労実況を把握することの重要性をまず確認しました。登録はされても、実際の継続的就労はもっと少なくなっているという、当事者の話を元に尋ねた次第です。次いで、養成講座のカリキュラム内容を総論的な講習から実践的なプログラムに変更するべきではないかと言う指摘をしました。

## コロナ下の発展企業について

新型コロナウイルス感染の拡大によって、一般販売業、飲食業の分野の売り上げ減少をもたらしています。とりわけ、飲食業の場合は営業自粛の影響もあって、多大な売り上げ減をもたらした例が目立っていました。

町田市でも同様で、補正予算を組んで家賃補助の事業を連続的に行ってきたところで、そうした事業マイナスの話が大半を占める中、宅配を主体にする生活協同組合の事業者は、その事業が繁盛して活況を呈していると関係者から直接聞く機会があり、また、報道では閉鎖中の大学生協の余剰人員を受け入れているということでもあります。コロナ感染の発生を通じて、社会生活全体にマイナスの影響を与えているだけではなく、新しい生活習慣をもたらしているとも言える側面が出てきています。

地元で活躍する飲食業の事業者では、焼き肉店舗が、新たに店舗前に、焼き鳥の販売スペースを確保し、新たな販売品目の取り入れで、夜まで客が絶えない活況を呈しています。飲食店舗の営業形態の研究と新規販売品目の拡充努力を見るものでした。



町田市議会議員・若者育成の街

# 吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す



ブログ HP  
メールは左記を添えて送信



インターンシップ好評

## 氷河期世代就職支援事業

町田市で新たに行う事業の中には、氷河期世代の未就業者に介護事業所で就業してもらおうというものがあります。具体的には、「町田市 ICT を活用した介護人材就労支援事業」と名付けられています。スマホを使ったマッチングの取り組みとなり、介護資格を持っていない人を含めた一般の人を対象に行うもので、人手不足と言われる分野に人を供給し、本人にも就業の機会を提供しようというものです。この事業費から、直接雇用を生み出そうというのではなく、ソフト的な取り組みと言えます。自ずと、大きな人数の人の就業あっせんにつながると思えませんが、必須な内容でしょう。このベースとなる地域就職氷河期世代支援加速交付金というものは、国の施策に各自治体が個別事業の事業名やその施策内容を提示して、予算を確保するものであり、町田市は、介護事業分野の就業者拡大に関するソフト開発事業（町田介護人材開発センター）の事業支援を提案したものです。

これまでの実績では、国は第3次までを募集しており、主に都道府県が主体に事業化支援の施策を行っているもので、町田市はその第2次の分に応募し、その他の予定はないというものでした。内心、就職氷河期世代の就職、就業はそれほど安易なものかと思惑でした。とは言え、欠かせない取り組みと思い、少しでも成果を期待します。



本会議の議案質疑の写真

## 屋外広告物のはみ出し看板の許可手数料

今期も決算認定の審査は、所管する各常任委員会で行われ、私は所属する建設常任委員会で質疑を行い、決算認定に賛成しました。次いで、付帯意見を付ける際には、10件の意見を提出しました。1件を除いて、他は全員、あるいは多数の議員が賛成してくれましたが、その内の1件を紹介します。

屋外広告物許可申請手数料に関して、質疑を行いました。屋外広告物は道路のはみ出しがある場合、許可申請を行って、手数料を払うことが義務付けられていますが、申告制であるために、無申告の看板には手数料が取られていないことがわかりました。公正な手数料を徴収するために、行政による許可を必要とする屋外広告物の面的調査方法を検討されたいと提案しました。\*委員会では、そこまで言っていないと思いますが、自動車積載カメラで測定して計る方法があると思っています。<当該意見内容>公正な手数料を徴収するために、行政による許可を必要とする屋外広告物許可に関する徴収方法を検討されたい。



\*町田市中心部商店街（あくまで参考写真）

★支持政党なし・市議会は「保守の会」

[yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)

URL <http://yoshidaben.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



ブログ HP  
メールは  
左記を読込  
して送信



インターン生募集中

## インターン体験記④日高 彩貴

初めて第46期生の研修生4人が集まった。皆でお互いのインターンシップ体験を語り合う時間もあったため、自分では気づかないであろう点を知って視野が広がり、とても充実したものとなった。

会派室にて一般質問ヒアリングの席に同席させていただいた。全体を通して感じたことが二点ある。まず、新型コロナウイルスの話題が多かった印象がある。タイムリーな話題で関心があったが、質問の席で聞いたものはとてもレベルが高く驚いた。そのお話の内容から、議員の方は私たち以上に日本の現状についての知識があり、これからの日本をととても熱心に考えられているのだと身をもって感じた。そして、吉田つとむ議員のヒアリングに同席した際、このヒアリングはとても重要なものなのだと感じた。その大きな理由は、ヒアリングが双方の理解の一致だけでなく、より良いものにするための役割も担っていると知ったからである。吉田つとむ議員は、質問を聞いて回答するなかで、皆が理解しやすく、納得がいくように「一般質問発言通告書」をブラッシュアップさせていた。またこの日は、多くの議員の方とお会いすることができた一日でもあった。その中で、政治を行う上で会派の違う議員の方と協力することがあると知った。私は、党の違う議員同士は常に対立関係にあると思っていたので、これはとても衝撃的である。より良い政策を行うために、その知識と経験を共有しているのだと知った。



昭和女子大学2年生 日高彩貴(第46期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施  
★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。  
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

## インターン体験記⑦ 星野ひとみ

今回のインターンシップは、吉田議員が参加している建設常任委員会の傍聴を行いました。今回の委員会では、最初に請願者が意見陳述を行い、委員の質疑・審査が行われました。続いて行政側の担当者が請願に対する回答を行い、委員からの質疑などにも答え、最後は、委員会としての意見をまとめて請願は採択されました。市民の声が直接届く請願は非常に重要ではありますが、市民側からすればなかなか手の出にくい手段であるかと思えます。しかし、自らの手で、自分の声が、直接届くという利点をもっと知って欲しいと思えました。



また今回の委員会では、インターンシップ4、5日目(ヒアリング・本会議傍聴)で耳にした内容に関連することも議論されていました。

委員会は本会議とは、内容も雰囲気もかなり異なっていると感じました。例えるなら、本会議は「広く浅く」なのに対し、委員会は「狭く深く」という印象です。本会議は議員が様々な分野の問題を多く取り上げますが、委員会は一定の分野ごとに分かれているためか、その分野に特化した内容を扱っていると思えました。

昭和女子大学3年生 星野ひとみ(第46期生)

町田市議会議員 **支持政党なし・保守の会**

# 吉田つとむ

情報公開は政治と議会活動の基本

町田市議会

〒194-8520  
東京都町田市  
森野2-2-22  
☎042-724-2171  
保守の会 会派室  
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

## インターン体験記④齋川 結衣

金融機関の総合職、社会人5年目の先輩インターン生の渡辺さんよりお話を伺った。いただいたアドバイスの中で最も心に響いたのは「自分の意見を自分の言葉で話す」ことである。私は人に何かを伝えることに苦手意識がある。これを機に自分なりに克服方法を考えてみた。それは、本や新聞を読んだ際に意見・感想を書く習慣をつけることである。漠然としたものを言葉にすることで、思考力を鍛えていきたい。



昭和女子大学3年生 齋川 結衣(第46期生)

## インターン体験記③佐々木愛花梨

議会のヒアリングへの参加をさせていただきました。吉田議員は4つの表題についてのヒアリングでした。特に関心が沸いたのは、やはり1日目のインターンシップの際に見学させて頂いたリレーセンターとプラスチックごみについての話題でした。4つの案件とも、内容が難しくまたイメージが湧きにくい場面もいくつかありましたが、廃プラスチックの収集、資源化処理についての話題には、実際に見てきた現場でもあり、より問題の深刻さや現状について深く考えることができました。



昭和女子大3年生 佐々木愛花梨(第46期生)

●この市議会報告は、毎月ごとに2回(まれに3回)発行しています。その作成・配布費用は年に2-3回ほど政務活動費を使用することがありますが、それ以外は全て自費で発行しています。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅 042-795-7361



FAX: 042-795-2726

## 図書館サービスの請願

今期議会の大きな話題は、住民請願の審査にありました。所管の文教社会常任委員会で2度も継続審査を続けたものですが、今期で採決となりました。

請願のタイトルは、「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」の見直しを求める請願というものです。結果は、請願不採択（議案で言う否決）でした。私も、最終本会議の採決で不採択とし、この対応は会派で一致したものでした。これまでの図書館施策を変更し、鶴川地域にある2カ所の図書館の1カ所を一般からの寄贈で集めた図書で対応し、他の1カ所の運営を指定管理の方法で採用しようとする町田市の方針に反対する請願でした。町田市のやり方が適正かどうかは不明の部分もありましたが、現状を守る、維持する点からの視点を超えられず、図書館の本の貸し出しに重点を置いてきた町田市図書館の（地域の分館も含む）貸出数が減少してきている状況に対して、その対応に関して、改善点が見えてこない点が、請願を支持しづらい、すなわち採択（＝可決）づらいものとなったと思います。



鶴川駅前図書館が予約本のみの取り扱い中に訪問した際に撮影したものです

## 市内工事業者の受注機会増加を求める

今期議会の決算認定の審査において、下水道整備の管渠事業で、市内業者と市外業者の受注状況を尋ねました。

町田市が発注する下水道工事に関して、市外業者の受注割合が多すぎるのではないかと、言う趣旨で行政に尋ねたものですが、市が直接発注する工事では、市内業者が概ね受注し、町田市が（東京都の）都市づくり公社への委託する大型工事では、市外業者が受注している状況がわかりました。

そこで、委員会の付帯意見として、「管渠工事の発注に関して、（東京都の）都市づくり公社への委託割合を減らして市発注工事比率を高めるとともに、市内業者の受注機会を増やされたい」という文面を提起すると、建設常任委員会の全議員（委員）から賛成の挙手がありました。他の項目を含めて、委員長より本会議で報告され、了承されました。後々、行政より、市の方針が文書で返答されることとなります。



上記写真は、町田市内の下水道工事の現場で撮影。下水道事業は、東京都が管轄し、大型工事はほぼ市外業者が受注しています。

★ 支持政党なし・市議会は「保守の会」 [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)

URL <http://yoshidaben.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員・若者育成の街

# 吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動



ブログ



メールは左記を読込して送信



インターンシップ好評

## 自由通路は東急のものではない

自由通路は町田市が建設資金を負担する

今度の定例会の一般質問で、「南町田グランベリーパーク駅北口か店舗に通じる自由通路を東急社員（駅員の方を除く）が東急のものだと考えている節がある。本当は町田市のものではないか」と尋ねました。行政の答弁（答え）は、町田市のものと言うことでした。

もとより、「自由通路」と言われる部分が東急電鉄のものであるはずがないですが、公共の道路のことを良く知らない、理解していない鉄道会社社員は、鉄道の周囲にあるものはなんでも自分の会社の所有と勘違いをすることが起きます。さすがに、駅で勤務する駅員の人たちは、自由通路が東急電鉄のものであるとは一人も認識していません。



そもそもこうした東急電鉄社員が、この自由通路を東急のものとして誤解するのは、次の理由によるものです。本来、自由通路はその前後が公共道路につながるものですが、この南町田駅では、バスロータリーの反対側が、全て東急の店舗にしか通じていない構造に設定したことによるものです。こうした区画整理の手法は渋谷や六本木のどこにも見当たりません。

## 市営住宅の調査と空き駐車場

町田市営住宅、4団地合計で総戸数281戸

今期の定例会では、予算執行の決算審査を行いました。決算認定を可決した後、行政に意見を付する内容を本会議で承認し、文書で市長部局に送付することになっています。

その提案の一つに、「市営住宅使用料において、長期間の入居者に関して、入居条件の実態調査を深められたい」という提案を建設常任委員会で行い、委員会の会議で一人の反対を除いた全員から賛成を得ました。それを含めて、本会でも承認されました。

その具体的な内容に関して、市営住宅の家賃は所得にスライドして家賃が上がるものですが、市営住宅の入居基準、あるいは入居後、所得制限を超した場合、退去の例はどうなっているかを尋ねたものです。入居基準の厳格化を求める趣旨で、適正な家賃収入を確保する提案です。他に、住宅内駐車場の利用状況で、空きが出ていることを指摘しましたが、その改善は別の場で議論することにしました。今回は、住宅の家賃収入と言う歳入（お金の入りを増やすべき施策）の絞り込み提案しました。



都営住宅駐車場は、空きスペースを近隣の人にも貸し出す。市営は無し。

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ  
右上は新規の  
ビジュアルサイト



インターン生募集中

## インターン体験記⑦ 日高 彩貴

インターン生全員と吉田議員が zoom で会議を開き、その中でオンライン授業について議論した。



各自が感じたオンライン授業を受けてみての感想は、自己管理能力が問われたという星野さんの意見に納得した。私が思うオンライン授業のメリットは、自分のペースに合わせて学習ができ、深い学びができることだ。しかし、生活リズムが崩れたり、平等な評価が得られているのかという不安が残ってしまうというデメリットもあると思う。例えば、グループワークをする際、ミュートや顔出しせずに参加している学生が実在する。グループワーク（生徒のみの環境）でその場にはいない教員が、平等な評価ができているのかと個人的に疑問に思う。また、大切なところで、音が途切れてしまうといった通信環境の問題もある。オンラインでスムーズな授業を行うためには、まだ課題点が多いと感じた。

この議論を踏まえて、小中高등학교とオンライン授業との関連性を議論した。新型コロナウイルスの影響で、形を変えてきた授業形態に教育機関はまだ追い付いていないと私は思う。通信環境の整備から評価基準の見直し、教員側の授業づくりの変化等の課題は多い。しかし、教室にいけない生徒にとっては未来性のあるものだと感じている。

昭和女子大学3年生 日高彩貴(第46期生)

## インターン体験記⑧ 星野ひとみ

<決算日程審査>まず下水道部では、下水管の整備費や管理費、下水管・水洗式の普及のために行っている政策とその成果、これからの課題などを報告し、それをもとに議論が行われていました。この下水道部の議論で多く出ていた言葉が『市民の衛生的な生活を守る』というものです。実は下水管の整備によって大雨などで引き起こされる浸水被害も防止できるというのです。この点は私も知らなかったのが勉強になりましたし、市民の快適な生活に欠かせない存在だと感じました。

続いて道路部では、市道路線の廃止と変更についてが興味深いと感じました。河川改修事業を行ったことで蛇行した川が真っ直ぐになりました。その際、改修前の河川に沿って作られた道は使われないかつ河川の敷地の中に入ってしまうので、廃止し、新しくまっすぐの河川に沿った道路に変更するというものでした。生活の中で道路は何気なく使っているものだと思います。時々、舗装工事や測量、街路樹の剪定などを行っているのは知っていましたが、裏でここまで細かい議論がされていることは想像が付きませんでした。

今回行われた委員会の内容は、どちらも私達の生活に欠かせないものを管理している部署でした。普段、不自由なく生活できているのは、このような部署の方々がしっかり管理してくれているからだと改めて感じることができました。



昭和女子大学3年生 星野ひとみ(第46期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施  
★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。  
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

情報公開は政治と議会活動の基本

町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野2-2-22  
☎042-724-2171  
保守の会 会派室  
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

## インターン体験記⑧ 齋川 結衣

町田市立市民文学館ことばらんど展覧会

<20×20 原稿用紙>明治・大正・昭和の作家が使用した400字詰め原稿用紙が展示されている。原稿用紙の種類やその使い方には作家ごとに特徴が出る。普段は印字された作品を目にしていることが多いため、自筆ならではの味わいがある。そこで紹介される作者による原稿料の違いも注目すべき点だ。



<2020 (ニコニコ) 絵本原画展>おぼまことさん、渡辺有一さん、中垣ゆたかさんの3名の作品が展示されている。おぼさんと渡辺さんは町田市にゆかりのある絵本作家である。展示室の壁、床、展示ケースの装飾は絵本の世界観が表現されている。使用画材・タッチ見本の展示やクイズコーナーもあり、読み手側と作り手側の双方から楽しめる内容である。



昭和女子大学3年生 齋川結衣(第46期)

## インターン体験記⑤ 佐々木愛花梨

吉田議員の元インターンの方と就活懇談

今回お話を聞かせて頂いた、吉田議員の元インターン生の稲葉さんは昭和女子大学の先輩ということで、私たちに非常に親身になって相談に乗ってくださり、また当時使用していた就活関連の資料なども、パワーポイントにまとめ、ノートパソコンを使って、わかりやすく見せて頂きました。

職種を選び方にかかわることを様々な視点から見たメリットデメリットを教えてください、さらに今後の就活のエントリーシートの作成、面接対応などのアドバイスも沢山してくださりました。これまでの元インターン生の方との面談でも共通して思ったことは、就活は準備と場慣れがいかに重要か、ということでした。そして印象に残ったことは、業界・企業選びにおいて特別な希望が無い場合は自分の条件や雰囲気があったところを選ぶことが良いと思う、という意見でした。非常に参考になることばかりで、今後の就活に活かしていきたいと思いました。



昭和女子大3年生 佐々木愛花梨(第46期生)

●この市議会報告は、毎月ごとに2回(まれに3回)発行しています。その作成・配布費用は年に2-3回ほど政務活動費を使用することがありますが、それ以外は全て自費で発行しています。